



縮小映画祭#3「春画と日本人」ご鑑賞のみなさまへのお知らせ

2度にわたって延期しております、日文研所蔵春画の特別展示を、京都国際マンガミュージアムにて、5月14日（土）午後開催いたします。ただし、今後の感染状況の変化によっては中止（再々延期なし）になる場合があります。お出かけ前に、京都国際マンガミュージアムのホームページでご確認ください。

縮小映画祭の親企画である「縮小社会のエビデンスとメッセージ：人口・経済／医療・福祉／教育・文化／地域・国際、そしてマンガ」展を5月16日（月）までギャラリーにて開催しております。春画展示の会場は、13：30～16：30に開催される公開シンポジウム「縮小社会、文化はどうなる！？」の会場です。『わたし今、トルコです。』などで知られるマンガ家の市川ラク氏をトルコからリモートでお迎えし、企画展に携わった研究者らが〈縮小社会〉の現在と未来について議論します。こちらも併せてお楽しみください。詳細は以下のページにあります。

<https://ys.nichibun.ac.jp/shukusho/#event>

公開シンポジウム終了後、春画研究者で京都精華大学非常勤講師の鈴木堅弘氏が、展示している春画のみどころなどを解説します。

参加方法

【*注意*】 券売機で入館券を買わないでください。買ってしまおうと払い戻しできません。

- 「春画と日本人」にお申し込みのさいの Peatix 画面あるいはプリントアウトを入口でご提示いただけたら、10：30から無料で入館できます。
- チケット2枚で申込みされた方は、なるべくご一緒にお越しください。別々にお出でになる場合は、申込み者から、あらかじめ Peatix の申込み画面を共有していただくなどしてください。
- 入館受付の手前で、公開シンポジウム「縮小社会、文化はどうなる！？」の整理券を必ず受け取ってください。整理券は先着100名までになっています。
- 春画展示会場（シンポジウム会場）には、13時からご入場いただけます。
- シンポジウム終了後、17：30まで春画をご鑑賞いただけます。